

会 議 録

学 校 名	新座市立石神小学校			
会 議 の 名 称	令和4年度 第4回 学校運営協議会			
開 催 日 時	午前・ 午後 9時30分から 令和5年1月17日(火) 午前・ 午後 11時45分まで			
開 催 場 所	新座市立石神小学校校長室、なかよしホール			
出 席 委 員	石田 茂	○	荻原 洋志	×
	伊藤 順一	○	狩谷 昇治	○
	深沢 眞己	○	玉木 有美子	○
	長嶋 友美	○	佐久間 幸代	○
会 議 内 容	<p>1 開会のことば</p> <p>2 校長あいさつ</p> <p>3 タブレットについて</p> <p>4 協議</p> <p>(1) 学校評価について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校関係者評価について <p><u>学力調査の結果は、国や全国と比べてどうだったのか。</u></p> <p>→新座市のほぼ中間くらいである。学年やクラスのカラーもあり、配慮が必要な児童もいるので、力を伸ばしたい層に必要な支援や課題について研究している。最後まで説明する力をつけるために、単元前と単元後の小問題を課し、伸びを把握している。</p> <p><u>「学力向上」の項目について、基準がわかりにくい項目が多いが、新しい学力とは何か。</u></p> <p>→教師主導の授業ではなく、児童同士が学び合う力、協働的な学びが求められている。プレゼンテーション能力も求められている。</p> <p><u>「豊かな心の育成」について、児童の小さな成長「スモールステップ」を大切に、寄り添う指導をお願いする。デジタルの便利さだけでなく「アナログ」的な指導も大切にしてほしい。</u></p> <p><u>「健康・体力の向上」について、運動会は感染症対策を踏まえ、よくやってくれた。</u></p> <p><u>全体を通じて、コミュニティスクールとして、地域とのつながりの場をどう確保していくか、もっと多方面に増やしていくか、今後お互いを高めていく工夫をするとよい。</u></p>			

	<p><u>地域と学校の間にある壁をどう破っていくか。何をするとよいか、そのきっかけはあるか。</u></p> <p>→学校応援団の活動に、読み聞かせや昔遊び、ミシンの授業補助などコロナ感染症流行前にはよく行われていた。職場訪問活動も以前はあった。コロナが終焉した後、どう戻していくか、どう新しく組織するか、準備が必要である。</p> <p>(2) 令和4年度 of 取組の紹介 (教職員発表)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・体力向上について 体育委員会の活動について <u>児童の頑張りをよく褒めること。</u> <u>委員の募集方法は？</u> →学校をよくするために自分自身がもっとやりたい委員会を選んでいる。主体性を重視している。 ・ICTの活用について アプリ「ロイロノート」の実践 <p>(3) 「あいさつの町 石神」プロジェクトについて</p> <ul style="list-style-type: none"> ・発足式について 2月13日10:00からに決定。 ・「石神」のワードについて、<u>町会によっては複数の小学校校区にまたがる町会もある。ぜひ、「石神小」だけの取組で終わらず、「新座」、市全体の活動に広がるよう次の段階も目指してほしい。</u> <p>5 授業参観 (協議時間が長引いたため、実施せず)</p> <p>6 連絡</p> <p>(1) 今後の学校運営協議会開催予定日及び内容について</p> <p>(2) その他</p> <p>7 閉会のことば</p>
<p>会 議 資 料</p>	<p>資料1 次第</p> <p>資料2 学校関係者評価シート (令和4年度)</p> <p>資料3 令和4年度 学校関係者評価のとりまとめに係る資料 (評価一覧表)</p> <p>資料4 「あいさつの町 石神」プロジェクト</p> <p>資料5 缶バッチデザイン</p> <p>資料6 横断幕デザイン</p>
<p>公開・非公開の別</p>	<p>① 公開 2 一部公開 3 非公開 (傍聴者 0人)</p>
<p>そ の 他 の 必 要 事 項</p>	<p>なし</p>

文責 (教頭 長尾 友一)